



2011年教育地域科学 第2問

2 Oを原点とする座標平面上に2点A(4, 2), B(5, 0)がある。AをP₀とし, P₀から直線OBに下ろした垂線と直線OBとの交点をP₁, P₁から直線OAに下ろした垂線と直線OAとの交点をP₂とする。同様にして、自然数nに対して、P_{2n}から直線OBに下ろした垂線と直線OBとの交点をP_{2n+1}, P_{2n+1}から直線OAに下ろした垂線と直線OAとの交点をP_{2n+2}とする。さらに、自然数nに対して、線分P_{n-1}P_nの長さをl_nとするとき、以下の問いに答えよ。

- (1) l_nをnの式で表せ。
- (2) l₁+l₂+…+l_n>OA+OBとなる最小のnの値を求めよ。ただし、log₁₀2=0.3010とする。
- (3) 線分P_{2n-1}P_{2n}の中点をM_nとするとき、点M₁, M₂, M₃, …, M_n, …は一直線上にあることを示し、その直線の方程式を求めよ。